

(別紙5)

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-146  
補助事業名 平成26年度 地域ふれあい交流活動補助事業  
補助事業者名 仙台市立南吉成中学校

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

本事業は2つの教育実践からなる。

一つ目は「中学生が主導する地域防災訓練」であり、将来的に地域防災を担う人材を育成することを目的に行う防災教育の実践である。この実践では、中学生の防災意識を高め、防災に関するスキルを学び、防災対応能力の向上を目指すものである。さらに、この訓練では地域組織等と連携を図り、学校が地域を巻き込む活動として展開し、防災教育を通じて学校と地域の共通目標である「地域の防災力を高め、安全で安心な地域づくり」にも貢献できることを目指している。

二つ目は「津波被災農家に弟子入り体験」であり、中学生が津波被災農家で農作業の奉仕活動を行う。この体験活動を通じて、被災農家が甚大な被害と苦難から立ち直り、農業再生や復旧・復興に向けて尽力する姿を体感し、その活動を共にすることで生き抜く力の糧を学び取ることを目的としている。その際、農業再生・復興の道のりから、どんなに辛く悲しい現実にも背を向けることなく、前に進もうとする意欲と希望を持つことの大切さを、生徒の心に刻み込み、何事にも諦めない強い心情を培うことを目指している。

#### (2) 実施内容

仙台市立南吉成中学校 (URL <http://www2.sendai-c.ed.jp/~chikufu/>)

##### ①「中学生が主導する地域防災訓練」

本訓練は、中学3年生が以下の6つの班に分かれて訓練活動を担当し、小学6年生と中学1・2年生、保護者や地域住民が避難者役として参加し、地域防災訓練を開催している。

**A、避難所設営・運営班**・・・避難所を設営して避難者に対応。受付で避難者の名前等を記録



- Ⓔ 炊き出し調理班・・・非常災害用炊飯袋でご飯を炊き、本校特製の**カレー丼 650食分**(去年は 550 食)を調理・提供  
P T A 役員が温かい豚汁を調理・提供



- Ⓒ 集団避難・誘導班・・・4ヶ所に設けた一時避難所に集合し、生徒が誘導して本校まで集団避難



- Ⓓ 救急・救護班・・・担当生徒が避難者に聞き取りによる健康調査や血圧測定など実施



- Ⓔ 災害状況・情報収集班・・・生徒が支援組織の方と一緒に地域を巡回して危険箇所等を調べ、さらには各戸を訪れ、本校で午後開催するシンポジウムのチラシを配布



- Ⓕ 災害対策本部・・・生徒会役員がトランシーバを携帯して各班の進捗状況を把握し、本部の7町内会長に情報を集約。この情報をもとに、計画通りに訓練等が進行・実施しているかを確認し、遅れ等の問題



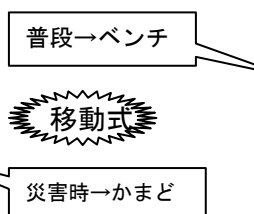
が生じている場合は、生徒会が主体的に改善提案して迅速に解決を図っている。



**G** 移動式かまど・ベンチの制作・・・生徒たちが非常時や地域防災訓練等に使用するかまど、普段は級友と集うベンチとして使う移動式かまど・ベンチを製作

[セメントをこねる]

[レンガを積み上げる]



**H** 3年生がポスターセッション・・・地域防災訓練・当日の10:30～11:30  
小学6年生と中学1・2年生、地域防災訓練に参加している地域住民の皆さんに、10テーマの学習成果を発表

小学生の興味関心も高めるため、段ボール製のロボット着ぐるみで寸劇を披露



市販の非常用持ち出し袋をもとに、備えを比較説明



(別紙5)

ポスターセッションは10テーマが同時刻に同時に行われ、発表7分、質疑3分の計10分、そして参観者が次のテーマ会場に移動する5分、合計15分をサイクルに、10:30、10:45、11:00、11:15、11:30に開始される。参観者は興味あるテーマ5つ視聴できることになる。

テーマ毎に生徒たちは発表方法を工夫し、演劇仕立てで行ったり、ツナ缶ランプの実演をしたりするなど、参観者が聞き入り、歓声をおこすほど、熱心に聞き入っていた。

## ②「津波被災農家に弟子入り体験」

この体験では、津波被災農家の方々から講演をいただき、その後の7月と11月に体験活動を行っている。

**7月11日 被災農家4人の講演「地震・津波の体験と農業再生・復興への道のり」**

講師：(株) 仙台荒浜アグリパートナーズの4人(前・綿花組合)

講演参加者数：全校生徒290人、保護者100人、教員25人計415人



**7月25日 津波被災農家に弟子入り体験①(仙台市東部沿岸)**

○被災地を視察し、綿花畑で手作業による除草



3階まで津波が襲来した小学校



4階教室に残る避難者のメッセージ



今年に建立された慰霊塔の前で講話



(別紙5)



[綿栽培と農作業の説明を聞く] [広大な綿栽培畑に生徒たちが散らばり、除草作業を行った]

**10月 3日 ユネスコスクール東北大会で活動報告（主催：文科省等）**

○本大会は主に東北地区の小中高の教員や大学教官などが、持続発展教育について学ぶ研修会である。

○1年生約90人が、体験活動の映像をバックに1年生全員が群読（津波被災農家に弟子入り体験の報告）と合唱を披露

○生徒会6人が、本校の防災教育を実践発表



**11月16日 津波被災農家に弟子入り体験②（仙台市東部沿岸）**

午前：生徒と保護者が手作業で綿花の収穫

午後：仮設住宅住民等（約200名）も参加して収穫祭



○仮設住民や被災者等に、吹奏楽部が演奏して生徒が合唱を披露



## 2 予想される事業実施効果

### (1) 「中学生が主導する地域防災訓練」

本訓練では、防災教育の実践を通じて、地域貢献活動による奉仕的精神を培い、防災・減災の意識と行動力を高め、防災対応能力を育むことが出来る。そして、中学生が主導して行う訓練に、地域を巻き込む防災教育は、災害時の自助・共助の方策を形作り、地域防災力の向上に資するものとなる。

中学生が主導する訓練を継続することで、将来的には地域防災を担う要となる人材が育まれ、生徒・保護者・住民など世代を超えた防災の協働体制が構築されることにつながり、地域の活性化と安全・安心な地域づくりに波及する可能性がある。そして、本実践の永続的な継続によって大震災の教訓が継承され、学校と地域が連携する防災教育は住民間の絆を強め、持続可能な地域づくりにも進化・発展する効果が生じるも予想される。

### (2) 「津波被災農家に弟子入り体験」

津波被災農家が塩害のために稲作を出来ない畑で綿花を栽培し、農業再生・復興に向けて尽力している姿から、何事にも諦めない力や強い精神力を、生徒が支援活動を通じて体験的に知り、自らの生き抜く力の糧として学び取ることができる。

生徒は綿花畑で真夏に除草作業と、初冬に綿花収穫作業を行い、農作業の大変さと苦勞を体感して理解する。それと共に、級友同士だけでなく被災者等の他者との助け合い、支え合う心の育成と、“支えられる人” から“支える人” への変容とその姿勢を学び取り、奉仕的精神を培うことが出来る。

この弟子入り体験は大震災の翌年から継続しており、生徒は自らの地域と比較して、津波被災地の復旧・復興の様子とその進捗状況を確認している。生徒はいまだに元の生活に戻れない、戻る見込みもない方々の存在を知り、自分に何が出来るのか、何をしなければならないのかなど、様々な考えや思いを抱き、そこから自らの発想により新たな取組が生まれることも期待できる。

(別紙5)

### 3 本事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

仙台市立南吉成中学校 (URL <http://www2.sendai-c.ed.jp/~chikufu/>)

平成26年度 仙台市立南吉成中学校

多様な体験的活動に基づく  
防災教育の実践

【目次】

I	はじめに	P 1
II	中学生が主導する地域防災訓練【平成25・26年度の実践】	P 2
1	中学生が主導する地域防災訓練の概要	P 2
2	訓練準備・実施計画	P 6
3	移動式かまど・ベンチの製作	P 7
4	アンケート調査の結果・分析について	P 8
III	「津波被災農家に弟子入り体験学習」と被災支援活動	P 14
1	平成24年度の実践内容	P 14
2	平成25年度の実践内容	P 16
3	平成26年度の実践内容	P 18
4	生徒アンケートの結果分析	P 21
5	「津波被災農家に弟子入り体験」に対する保護者のコメント	P 32
IV	校内・炊き出し調理コンテスト	P 44
1	実施の目的	p 44
2	実施の流れ	P 44
3	炊き出し調理の条件設定	P 44
4	審査について	P 45
5	平成24～26年度のコンテスト開催について	P 45
6	レシピ集の作成と活用	P 48
7	平成25年度アンケート調査について	P 50

 RING!RING!  
プロジェクト  
オートレースの補助事業

この教育実践は、オートレースの補助を受けて実施しました。

#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 仙台市立南吉成中学校

(センダイシリツ ミナミヨシナリチュウガッコウ)

住所： 〒989-3204

仙台市青葉区南吉成5丁目18番地の2

代表者： 校長 高橋 教義 (タカハシ ノリヨシ)

担当部署： 防災教育 (ボウサイキョウイク)

担当者名： 防災主任 小山 紘明 (コヤマ ヒロアキ)

電話番号： 022-277-4377

F A X： 022-303-4328

E-mail： [chikufu@sendai-c.ed.jp](mailto:chikufu@sendai-c.ed.jp)

U R L： <http://www2.sendai-c.ed.jp/~chikufu/>